1/5/1 (Item 1 from file: 351)
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI
(c) 2005 Thomson Derwent. All rts. reserv.

004519383

WPI Acc No: 1986-022727/198604

XRPX Acc No: N86-016627

High frequency filter for electronic instrument - has insulation layer with conductive layers connected between connector and circuit element of instrument

Patent Assignee: NIPPONDENSO CO LTD (NPDE )

Inventor: KATOH T; SABURI T; SAKURAI T; SUGIMOTO H; YAMAZAKI T

Number of Countries: 005 Number of Patents: 008

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week	
EP 169053	Α	19860122	EP 85305055	Α	19850716	198604	В
JP 61026318	Α	19860205	JP 84147343	Α	19840716	198612	
JP 61045615	Ā	19860305	JP 84159937	Α	19840730	198616	
JP 61046606	A	19860306				198616	
JP 61173472	A	19860805	ı			198637	
US 4935710	A	19900619				199027	
EP 169053	В	19901010			•	199041	
	_	19901115				199047	
DE 3580070	G	19901110				10001	

Priority Applications (No Type Date): JP 84168710 A 19840810; JP 84147343 A 19840716: JP 84159937 A 19840730; JP 84166784 A 19840808

19840716; JP 84159937 A 19840730; JP 84166784 A 19840808 Cited Patents: 1.Jnl.Ref; A3...8652; DE 1439298; EP 123457; EP 132006; EP 132327; EP 135211; EP 19437; JP 57140047; No-SR.Pub; US 3743978

Patent Details:

Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes

EP 169053 A E 80

Designated States (Regional): DE FR GB

EP 169053 B

Designated States (Regional): DE FR GB

### Abstract (Basic): EP 169053 A

The instrument includes an electric circuit element arranged within a casing of metallic conductive material, and a connector mounted on a peripheral wall of the casing for connecting the circuit element to an external electrical circuit. The filter includes an insulation substance layer arranged between the connector and a connection terminal of the circuit element, this layer being made of a dielectric material whose dielectric const. decreases or increases in accordance with increase or decrease of wireless frequency applied to it.

A pair of conductive layers are formed on opposite surfaces of the insulation layer, with one conductive layer connected at one end to the connector and at the other end to the circuit element. The other conductive layer is connected to a portion of the casing.

USE/ADVANTAGE - Electronic equipment in e.g. vehicle. Provides distributed const. circuit effective in broad radio frequency band. 3/68

Title Terms: HIGH; FREQUENCY; FILTER; ELECTRONIC; INSTRUMENT; INSULATE; LAYER; CONDUCTING; LAYER; CONNECT; CONNECT; CIRCUIT; ELEMENT; INSTRUMENT Derwent Class: U14; U25; W02; X22

International Patent Class (Additional): H01R-013/66; H01R-023/68;

H03H-001/00; H03H-007/01

File Segment: EPI

⑩ 日本国特許庁(JP)

(I) 特許出願公告

#### ⑫ 特 許公 **報**(B 2)

平5-46724

Dint. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❷❸公告 平成5年(1993)7月14日

H 03 H 7/01 H 01 P H 01 R 13/66 Z Z 8321 - 5 J

9173-5E

発明の数 1 (全12頁)

会発明の名称

電子機器のための髙周波フイルタ

前置審査に係属中

②特 顧 昭59-166784 匈公 開 昭61-45615

**29出** 願 昭59(1984)8月8日 @昭61(1986)3月5日

何発 明 崎 者 山 徹 個発 明 者 杉 本 寬 志

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 日本電装株式会社内 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

日本電装株式会社内

(7)発 明 桜 者 井 孝 個発 明 者 佐 分 緻 樹

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 爱知県刈谷市昭和町1丁目1番地

日本電装株式会社内 日本電装株式会社内

62)発 明者 加 薛 大 誠 勿出 頭 日本電装株式会社 人

爱知県刈谷市昭和町1丁目1番地 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

日本電装株式会社内

個代 理 人 弁理士 碓氷 裕彦

審査管

方 寿 彦

网络考文 献

実開 昭54-146140(JP,U)

1

### 切特許請求の範囲

1 導電性ケーシング10と、

この導電性ケーシング内に配置されて外部回路 から延在する接続線路W,~Ws, P,~Psに接続さ れる接続端子を設けた電子素子40,50,65 0, 111とを有する電子機器において、

前記電子素子の接続端子および前記接続線路の 間に介装した絶縁層72,123a~126a

記電子素子の接続端子および前記接続線路の間に 接続された、所定の抵抗値を有するインピーダン ス層73~77,91~95,123b~126

記導電性ケーシングに接続された導電層71,8 1. 122と、を有し、

前記絶縁層は、空気の誘電率に比べて非常に高 く、かつ無線周波数の増大に応じて減少する誘電 率を有する誘電材料により形成されたものであ 20 り、

前配インピーダンス層および前配導電層と共 に、広い無線周波数領域に亘り前記誘電率の無線 2

周波数特性との関連で高い濾波特性を発揮するよ うにしたことを特徴とする電子機器のための高周 波フイルタ。

### 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、電子機器のための高周波フィルタに 係り、特に放送局、アマチュア無線局、市民無線 局、パーソナル無線システム、軍用レーダー等の 電波発生源から発せれる各種電波に起因した電波 この絶縁層の一方の面に設けられると共に、前 10 障害から電子機器を保護するための高周波フィル タに関する。

### 〔従来技術〕

従来、この種の高周波フィルタにおいては、例 えば、特開昭58-61583号公報に開示されている 前記絶縁層の他方の面に設けられると共に、前 15 ように、チップ型コンデンサを採用し、これによ つて、電子機器の入出力線への各種電波に基づく 高周波雑音成分の伝搬を防止するようにしたもの がある。

### [発明が解決しようとする課題]

しかしながら、このような高周波フィルタによ つては、広い無線周波数帯域に亘る一様な濾波特 性が得られず、電子機器を上述の高周波雑音成分 の伝搬、即ち電波障害から適確には保護し得ない

という不具合がある。

そこで、本発明は、このような問題に対処すべ く、無線周波数帯域に亘り一様な濾波特性を有す る電子機器のための高周波フィルタを提供しよう とするものである。

## (課題を解決するための手段)

そのため本発明においては、

#### 導電性ケーシングと、

この導電性ケーシング内に配置されて外部回路 から延在する接続線路に接続される接続端子を設 10 図参照)。 けた電子素子とを有する電子機器において、

前記電子素子の接続端子および前記接続線路の 間に介装した絶縁層と、

この絶縁層の一方の面に設けられると共に、前 接続された、所定の抵抗値を有するインピーダン ス層と、

前記絶縁層の他方の面に設けられると共に、前 記導電性ケーシングに接続された導電層と、を有 し、

前記絶縁層は、空気の誘電率に比べて非常に高 く、かつ無線周波数の増大に応じて減少する誘電 率を有する誘電材料により形成されたものであ り、前記インピーダンス層および前記導電層と共 に、広い無線周波数領域に亘り前記誘電率の無線 25 態(即ち、絶縁状態)にて組付けられている。 周波数特性との関連で高い濾波特性を発揮するよ うにしたことを特徴とする電子機器のための高周 波フイルタを採用するものである。

#### 〔作用効果〕

タは、絶縁層の一方の面に設けられると共に、電 子素子の接続端子および接続線路の間に接続され た、所定の抵抗値を有有するインピーダンス層を 有しているから、このインピーダンス層が有する ギーとしての消費によつて、例えば本願の第9図 の実線α に示される遮断効果を得ることができ、 広い無線周波数領域に亘つて安定した高遮断効果 を得ることがきるという優れた効果がある。

### 〔実施例〕

以下、本発明の第1実施例を図面により説明す ると、第1図及び第2図は、車両に装備された本 発明を適用してなる電子制御システムを示してお り、この電子制御システムは、当該車両の各所に

配置したセンサ、アクチユエータ等の各種電装品 U1, U2, U3, U4, U5と、これら各電装 品U1, U2, U3, U4, U5に各入出力信号 線W1, W2, W3, W4, W5 をそれぞれ介し 5 て接続した電子装置D(当該車両の車室内、エン ジンルーム内、トランク等車体の内側に配置され ている。)とを備えている。かかる場合、各入出 力信号線W1~W5は電子装置Dとの間の相対的 配置関係に基づきそれぞれ長くなつている (第2

電子装置Dは、第1図に示すごとく、金属良導 体からなるケーシング10(導電性ケーシングに 対応)を有しており、このケーシング10の前壁 11に形成した長穴11aには、各入出力信号線 記電子素子の接続端子および前記接続線路の間に 15 W1~W5に接続したコネクタ20aに連結して なるコネクタ20が嵌着されている。コネクタ2 0は、ケーシング10内に列状に延出する逆L字 状の各コネクタピンР1, Р2, Р3, Р4, Р 5 を有しており、これら各コネクタピンP 1. P 20 2, P3, P4, P5はその各内端にてコネクタ 20 a を介し各入出力信号線W1, W2, W3. W4,W5にそれぞれ接続されている。但し、ケー ーシング 10 は当該車両の車室内、エンジンルー ム内、トランク等の車体の内側の適所に非接地状

プリント基板30は、金属良導体からなる複数 の支持部材(図示しない)によりケシング10内 にてその底壁12の上方に支持されており、この プリント基板30の下面には、一対の銅箔膜31 上記構成により、本発明における高周波フイル 30 a, 31bが、第1図及び第3図に示すごとく、 ケーシング10の左右方向に互いに間隔を付与し て固着されている。かかる場合、各銅箔膜31 a, 3 1 b は 前記 支持 部材 に より ケーシング 1 0 の底壁12に短絡されている。一方、プリント基 所定の抵抗値に基づく高周波誘導電流の熱エネル 35 板30の上面には、各配線パターン32a,33 a, 34a, 35a, 36aがコネクタ20の各 コネクタピンP1, Р2, Р3, Р4, Р5にそ れぞれ対応してケーシング10の前後方向に配列 されており、これら各配線パターン32a, 33 40 a, 34a, 35a, 36aの上面には各コネク タピンP1, P2, P3, P4, P5の下端がそ れぞれ接続されている。また、ブリント基板30 の上面には、各配線パターン32b、33b、3 4b, 35b, 36bが各配線パターン32a,

33a, 34a, 35a, 36aにそれぞれに対 応してケーシング10の前後方向に配列されてお り、これら各配線パターン32b,33b,34 b, 35b, 36bと各配線パターン32a, 3 3a, 34a, 35a, 36aとの間の各対向端 間にはそれぞれ所定間隔が付与されている。

さらに、プリリント基板30の上面には、各電 子素子40,50,60及び本発明の要部を構成 する高周波フィルタ70が組付けられており、電 板30の上面に固着され、その各リード端子4 2, 43にて各配線パターン32b, 33b上に それぞれ半田付けされている。電子素子50はそ の各リード端子51,52にて各配線パターン3 電子素子60はそのリード端子61にて配線パタ ーン36b上に半田付けされ、そのリード端子6 2にてプリント基板30の上面に固着されてい る。

ケーシング10内にてコネクタ20と各電子素子 40,50,80との間におけるプリント基板3 0の上面に配設されている。この高周波フィルタ 70は、共通電極板71(導電性に相当)を有し ており、この共通電極板71は、第1図及び第3 25 にそれぞれ短絡されている。 図に示すごとく、その左右側端部からそれぞれし 形状に延出する各リード片(導電材料からなる) 7 1 a, 7 1 b を、ブリント基板 3 0 及び銅箔膜 31aに共通のランド穴37a、並びにプリント 基板30及び銅箔膜31bに共通のランド穴37 bにそれぞれ挿通して各銅箔膜31a, 31bに 半田付けすることにより、各配線パターン32a ~36 a と各配線パターン32b~36bとの各 対向端間にてプリント基板30の上面の上方にこ 極板71はその左右側端部にて各リード片71 a, 71bにより各網箔膜31a, 31bにそれ ぞれ短絡されている。

また、高周波フイルタ70は、第1図に示すご とく、共通電極板71の上面に形成した絶縁層7 2と、この絶縁層72の上面に互いに並行にケー シング10の前後方向に配設した短冊状の各電極 片73,74,75,76,77(インピーダン ス層に相当)とを有しており、絶縁層72は、無

線周波数f との関連にて第5図に示すごとく変化 する誘電率ε を有する誘電材料(例えば、鉄ニオ ブ酸鉛と鉄タングステン酸鉛の二成分組成物を主 成分にした誘電材料)によつて形成されている。 5 かかる場合、絶縁層72誘電率εは、無線周波数 f の増大により減少しても、空気の誘電率に比べ て十分に高くなつている。また、絶縁層72の板 厚、左右方向長さ及び前後方向長さは、それぞ れ、例えば、0.5mm、20mm及び10mmとなつている。 子素子40はそのリード端子41にてプリント基 10 抵抗層73は、所定の抵抗値を有する抵抗材料 (例えば、カーボンを主成分とした印刷導電塗料) を、第1図及び第4図に示すごとく、両配線パタ ーン32a, 32b間における絶縁層72の上面 部分に印刷して形成されており、この抵抗層73 4 b, 3 5 b上にそれぞれ半田付けされており、15 の前後両端部各上面にそれぞれ印刷形成した各電 極片 73 a, 73 b から L 形状に延出する各リー ド片73c, 73dは、配線パターン32a及び プリント基板30に共通のランド穴38a、並び に配線パターン32b及びブリント基板30に共 高周波フイルタブロは、第1図に示すごとく、20 通のランド穴39aに挿通され各配線パターン3 2a, 32bにそれぞれ半田付けされている。か かる場合、抵抗層73は、その前後両端部におけ る各電極片 73 a, 73 b を介し各リード片 73 c, 73dにより各配線パターン32a, 32b

また、残余の各抵抗層 74, 75, 76, 77 は、抵抗層73の場合と実質的に同様に、前記抵 抗材料により、第1図に示すごとく、各一対の配 線パターン33a,33b;34a,34b;3 30 5 a, 3 5 b; 3 6 a, 3 6 b間における絶縁層 72の各上面部分にそれぞれ印刷して形成されて おり、これら各抵抗層 74, 75, 76, 77の 各前後両端部の各上面にそれぞれ印刷形成した各 一対の電極片 7 4 a, 7 4 b; 7 5 a, 7 5 b; れに並行に支持されている。かかる場合、共通電 35 76a,76b;77a,77bからそれぞれL 形状に延出する各一対のリード片(導電材料から なる) 74c, 74d; 75c, 75d; 76 c, 76d; 77c, 77dは、各一対のランド 穴38b,39b;38c,39c;38d,3 40 9d; 38e, 39eに挿通されて各一対の配線 バターン33a, 33b; 34a, 34b; 35 a, 35b; 36a, 36bにそれぞれ半田付け されている。

かかる場合、各抵抗層74,75,76,77

はその各前後両端部における各一対の電極片74 a, 74b; 75a, 75b; 76a, 76b; 77a, 77bを介して各一対のリード片74 c, 74d; 75c, 75d; 76c, 76d; a, 33b; 34a, 34b; 35a, 35b; 36a, 36bにそれぞれ短絡されている。な お、上述した各ランド穴3 B b, 3 B c, 3 B d, 3 B e は、ランド穴 3 B a と実質的に同様 に、プリント基板  $\mathbf{30}$  との共通下にて各配線バタ  $\mathbf{100}$  1, ……Rnはそれぞれ分布抵抗を示す。 -ン33a, 34a, 35a, 36aにそれぞれ 形成されており、上述した各ランド穴39b,3 9 c, 3 9 d, 3 9 e(図示せず) は、ランド穴 -39aと実質的に同様に、プリント基板30との b, 36 bにそれぞれ形成されている。

このように構成した高周波フイルタ70におい ては、各抵抗層 73, 74, 75, 76, 77 が、絶縁層72を介する共通電極板71と共にそ 73a, 73b, 74a, 74b, 75a, 75 b, 76a, 76b, 77a, 77bが絶縁層7 2を介する共通電極板71と共にそれぞれ並行二 線路を形成する。しかして、無線周波数ƒ の低い 6,77及び各電極片73a,73b,74a, 74b, 75a, 75b, 76a, 76b, 77 a, 77bが、絶縁層72を介する共通電極板7 1との協働により並行平板型コンデンサたるフィ ルタとして機能する。

また、無線周波数fにおける前記低領域よりも 高い領域では、各抵抗層73,74,75,7 6,77及び各電極片73a,73b,74a, 74b, 75a, 75b, 76a, 76b, 77 1との協働によりそれぞれ第6図に示すレッヘル 型分布定数回路たるフイルタとして機能する。か かる場合、第6図におけるレツヘル型分布定数回 路は、電極片73a,74a,75a,76a又 の協働により形成するレツヘル型分布定数回路 Af、抵抗層 73, 74, 75, 76 が、絶縁層 72を介する共通電極片板71との協働により形 成するレツヘル型分布定数回路B、及び電極片7

3b, 74b, 75b, 76b又は77bが、絶 緑層72を介する共通電極板71との協働により 形成するレツヘル型分布定数回路Arのカスケー ド接続からなる。但し、第6図において、各符号 77c, 77dにより各一対の配線パターン33 5 L 1 ······Ln, L 1 ′······Ln ′ はそれぞれ分布イン ダクタンスを示し、各符号 G 1 、……Gn, G 1'……Cn'はそれぞれ分布コンダクタンスを示 し、各符号C1, ······Cn, C1', ······Cn'はそ れぞれ分布キャパシタンスを示し、かつ各符号R

また、各レツヘル型分布定数回路Af, B, Ar を総分布インダクタンスLa, Lb、総分布コンダ クタンスGa, Gb、総分布キャパシタンスCa, Cb、及び(又は)給分布抵抗Rにより表わせば、 共通下にて各配線パターン 3 3 b, 3 4 b, 3 5 15 各分布定数回路Af, B, Arは、第 7 図に示すご とく、それぞれ集中定数回路に類似した各回路 Af, ', B', Ar'となる。かかる場合、各総分布 キャパシタンスCa, Cbは、絶縁層72を形成す る誘軍材料の誘電率δ の前記無線周波数特性と、 れぞれ並行二線路を形成するとともに、各電極片 20 各抵抗層73~77及び各電極片73a~77 a、73a~77bとによる並行平板構造によつ て決定され、第8図に示すごとく曲線Cff)として 得られ、かつ各総分布コンダクタンスGa, Gb は、各総分布キャパシタンスCa, Cbの場合と同 領域においては、各抵抗層 7 3 , 7 4 , 7 5 , 7 25 様にして決定され、第 8 図に示すごとく曲線 G(t) として得られる。このことは、高周波フィルタ7 0が、無線周波数がにおける抵領域よりも高い広 領域にて、第9図において実線αにより示すごと く、共振現象を伴わないほぼ平坦な濾波特性を有 30 することを意味する。この場合、各抵抗層 73~ 77におけるその各抵抗値に基く高周波誘導電波 「の熱エネルギーとしての消費(つまり、伝送損 失)により、高周波フイルタ70の遮断特性が、 無線周波数分の低領域において、各抵抗層73~ a, 77bが、絶縁層72を介する共通電極板7 35 77を通常の電極片とした場合の遮断特性 (第8 図にて破線&により示す)に比べて大幅に改善さ れて高くなる。なお、第6図及び第7図にて、符 号e 1は配線バターン32a, 33a, 34a, 35a又は36aを示し、各符号e2, e4は銅 は77aが絶縁層72を介する共通電極板71と 40 箱膜31a又は31bを示し、また符号e3は配 線パターン32b,33b,34b,35b又は 36 bを示す。

> 以上のように構成した本実施例において、放送 局、アマチュア無線局、市民無線局、パーソナル

無線システム、軍用レーダー等の電波発生源から の各種電波E(無線周波数を有する) が第2図に 示すごとく当該車両に入射すると、この電波Eに 基づく高周波誘導流Ⅰが各入出力信号線W1、W 2, W3, W4, W5 に誘導され両コネクタ20 a, 20を通り高周波フィルタ70に流入する。 然るに、この高周波フイルタ70が、絶縁層72 の誘電率€ の第5 図における無線周波数特性及び 各抵抗層73~77のその各抵抗値に基く高周波 f の広い領域に亘り第9図の実線a により示すよ うにほぼ平坦な濾波特性を有するため、高周波波 誘導電流Ⅰが共通電極板71、各リード片71 a, 71b及び各銅箔膜31a, 31bを通り前 記各支持部材を介してケーシング10の底壁12 15 クトにし得る。 に確実に流入する。

換言すれば、高周波フイルタ70は、電波Eに 起因する高周波誘導電流「、即ち無線周波数成分 を、各電子素子40,50,60から確実に高濃 装品U1~U5と各電子素子40~60との間の 流出入信号電流のみの授受が、電波Eの存在にも かかわらず、各入出力信号線W1~W5、各コネ クタ20a, 20, 各配線パターン32a~36 ~77a、各抵抗層73~77、各電極片73b ~77b、各リード片73d~77d及び各配線 パターン326~36bをそれぞれ通して確実に 行われる。また、高周波フィルタブロの組付にあ たつては、各リード片71a, 71b, 73c, 30 基板30に垂設されている。 74c, 75c, 76c, 77c, 73d, 74 d, 75d, 76d, 77dを各ランド穴37 a, 37b, 38a, 38b, 38c, 38d. 38e, 39a, 39b, 39c, 39d, 39 この種高周波フィルタの実装が容易に行なえる。

なお、前記第1実施例においては、高周波フィ ルタ70を各配線パターンン32a~36aと各 配線パターン32b~36bとの間にてブリント 代えて、第10図に示すごとく、各配線パターン 32a~36aa、各ランド穴38a~38eの 前方側に位置するプリント基板30及び各銅箔膜 **31a,31b**の各部分、並びに高周波フィルタ

70の各リード片73c, 74c, 75c, 76 c, 77c及び各電極片73a, 74a, 75 a, 76a, 77aを省略するとともに、コネク タ20の各コネクタピンP1, P2, P3, P 4, P5の下端を各抵抗層73, 74, 75, 7 6,77の上面前端部にそれぞれ直接半田付けす るように実施してもよく、かかる場合には、各配 線パターン32a~36aの省略によりこれら各 配線パターン32a~36aに直接乗る高周波ノ 成分消費特性に基き、上述したごとく無線周波数 10 イズ等の外乱の影響にも除去することができ、そ の結果、高周波フイルタイクの滤波特性をより一 層向上させ得る。また、上述のごときプリント基 板30及び配線パターン32a~36aの省略に よりこの種電子装置の寸法形状をより一層コンパ

次に、本発明の第2実施例を第11図を参照し て説明すると、この第2実施例においては、高周 波フイルタ80を前記第1実施例における高周波 フイルタ70に代えてプリント基板30の上面に 波特性のもとに遮断して遮波する。従つて、各電 20 垂設するようにしたことにその構成上の特徴があ る。高周波フイルタ80は、共通電極板81(導 電層に相当)を有しており、この共通電極板 8 1 は、第11図及び第12図に示すごとく、その下 緑81 aを、プリント基板30及び各銅箔膜31 a、各リード片73c~77c、各電極片73a 25 a, 31bに共通な長手状のランド穴38f(各 ランド穴37a, 37bに代わる)に挿入して各 鋼箔膜31a,31bに半田付けすることによ り、各配線パターン32a~36aと各配線パタ ーン32b~36bとの各対向端間にてプリント

また、高周波フイルタ80は、第11図及び第 12図に示すごとく、前記第1実施例にて述べた 絶縁層72、各抵抗層73~77及び各一対の電 極片73a, 7.3b; .....; 77a, 77bと、 eにそれぞれ挿入半田付けするのみでよいので、35 アルミナ基板 82と、前記第1実施例における各 リード片 73 c, 74 c, 75 c, 76 c, 7 7 cに代えて各電極片 7 3 a, 7 4 a, 7 5 a, 76a, 77aからそれぞれ延出する各リード片 (導電材料からなる)83a,84a,85a, 基板30の上面に組付けるようにしたが、これに 40 86a,87aと、前記第1実施例における各リ ード片73d, 74d, 75d, 76d, 77d に代えて各電極片 73b, 74b, 75b, 78 b, 77bからそれぞれ延出する各リード片(導 電材料からなる) 83b, 84b, 85b, 86

b, 87bとを有しており、絶縁層72は、プリ ント基板30の上方にて共通電極板81の前面に 固着されている。

各抵抗層 73~77及び各一対の電極片 73 施例の場合と実質的に同様に絶縁層72の前面に 配設されている。アルミナ基板82は、絶縁層7 2に対応して共通電極板 8 1 の後面に固着され て、同共通電極板81を補強する役割を果す。リ 1実施例におけるランド穴38aに挿通されて配 線パターン32aに半田付けされている。一方、 リード片83bは、絶縁層72、共通電極板81 及びアルミナ基板82の各上緑からアルミナ基板 第1実施例におけるランド穴39 aに挿通されて 配線パターン32bに半田付けされている。かか る場合、リード片83bは、絶縁層72、共通電 極板81及びアルミナ基板82の各上縁及びアル ミナ基板82の後面から適宜間隔だけ離れて位置 20 36bをそれぞれ通して確実に行われる。 しており、また抵抗層73は、各電極片73a, 73b及び各リード片 83a, 83bを介し各配 線パターン32a, 32bにそれぞれ短絡されて いる。

a, 87aは、前記第1実施例における各ランド 穴38b,38c,38d,38eにそれぞれ挿 通されて各配線パターン33a, 34a, 35 a, 36 a に半田付けされている。一方、残余の ード片84aの場合と同様にアルミナ基板82の 後面側に延出し前記第1実施例における各ランド 穴39b,39c,39d,39eにそれぞれ挿 通されて各配線パターン33b,34b,35 各抵抗層 74, 75, 76, 77は、各一対の電 極片74a, 74b; 75a, 75b; 76a, 76b;77a,77bにて各一対のリード片8 4a, 84b; 85a, 85b; 86a, 86 33a, 33b; 34a, 34b; 35a, 35 b; 3 B a, 3 B b にそれぞれ短絡されている。

以上のように構成した本実施例において、前記 第1実施例と同様に、各種電波Eが当該車両に入

射したときこの電波Eに基づく高周波誘導電流Ⅰ が各入出力信号線W1~W5に誘導されて両コネ クタ20a, 20を通り高周波フィルタ80に流 入しても、かかる高周波誘導電流【は、前記第1 a, 73b;……; 77a, 77bは前記第1実 5 実施例における高周波フィルタ70と同様の高周 波フイルタ80の濾波機能のもとに、共通電極板 81及び銅箔膜31a,31bを通り前配各支持 部材を介しケーシング10の底壁に確実に流入す る。換言すれば、高周波フイルタ80は、電波E ード片83 aは、第12回に示すごとく、前記第 10 に起因する高周波誘導電流1、即ち無線周波数成 分を各電子素子40,50,60から確実に遮断 して濾波する。従つて、各電装品U1~U5と各 電子素子40~60との間の流出入信号電流のみ の授受が、電波Eの存在にもかかわらず、各入出 82の後面にかけて延出し、その下端部にて前記 15 力信号線 $W1 \sim W5$ 、各コネクタ20a, 20、 各配線パターーン32a~36a、各リード片8 3 a~8 7 a、各電極片 7 3 a~ 7 7 a、各抵抗 層13~17、各電極片13b~17b、各リー ド片 **8 3 b ~ 8 7 b**及び各配線パターン **3 2 b ~** 

かかる場合、高周波フイルタ80が、前記第1 実施例における高周波フイルタ70と異なりプリ ント基板30に垂設されているため、共通電極板 8 1 が各電子素子 4 0 ~ 6 0 をコネクタ 2 0 から また、残余の各リード片84a,85a,86 25 隔離してこのコネクタ20の内側開口部から各電 子素子40~60に直接入射する各種電波をも遮 断し得る。また、共通電極板81が各銅管膜31: a, 31bと直交しているため、この共通電極板 81と各銅箔膜31a,31bとの間の接続面積 リード片 B 4 a, B 5 b, B 6 b, B 7 b は、リ 30 も十分広くとれて高周波的なケーシング 1 0 に対 する短絡をより一層確実になし得る。また、高周 波フイルタ80の組付にあたつては、各リード片 83a~87a, 83b~87b、共通電極板 8 1の下端縁を各ランド穴38a~38e、39a b, 36 b に 半田付けされている。 かかる場合、 35 ~ 39 e, 38 f に それぞれ 挿入 半田付けするの みでよいので、この種高周波フイルタの実装が容 易に行なえる。

なお、前記第2実施例においては、高周波フィ ルタ80を各配線パターン32a~6aと各配線 b:87a,87bにより各一対の配線パターン 40 パターン32b~36bとの間にてブリント基板 30に垂設するようにしたが、これに代えて、第 13図に示すごとく、各配線パターン32a~3 Ba、各ランド穴38a~38eの前方側に位置 するプリント基板30及び各銅箔膜31a,31

bの各部分、並びに高周波フィルタBOの各リー ド片 8 3 a ~ 8 7 a 及び各電極片 7 3 a ~ 7 7 a を省略するとともに、コネクタ20の各コネクタ ピンP1, P2, P3, P4, P5の各垂下部を 各抵抗層73,74,75,76,77の前面に 直接半田付けするように実施してもよく、かかる 場合には、第10図における変形例の場合と同様 に各配線パターン32a~38aに直接乗る高周 波ノズル等の外乱の影響をも除去することがで より一層向上させ得る。また、上述のごときブリ ンント基板30の部分的省略及び配線パターン3 2a~36aの省略によりこの種電子装置をより 一層コンパクトにし得る。なお、コネクタ20の 層73~77との接触を確実になし得るように長 くしてある。

また、前記第2実施例においては、高周波フィ ルタB0の各リード片83b~87bを、第11 図に示したごとく、アルミナ基板82の後面側に 20 延出させるようにしたが、これに限らず、U形状 の各抵抗層 9 1, 9 2, 9 3, 9 4, 9 5 (前記 第1実施例における各抵抗層73~77と同一の 材料により形成されている)を、各抵抗層73, 74, 75, 76, 77に代えて、第14図に示 25 すごとく、絶縁層72の前面に固着するように変 形して実施してもよい。

かかる場合、配線パターン32bを両配線パタ ーン32a, 33a間に延在させ、配線パターン させ、配線パターン34bを両配線パターン34 a, 35b間に延在させ、配線パターン35bを 両配線パターン35a, 35a間に延在させ、か つ配線パターン36bを配線パターン36aの左 4,95の左側腕部の各下端から各電極片91 a, 92a, 93a, 94a, 95aを介してそ れぞれ延出する各リード片91c, 92c, 93 c, 94c, 95cを各ランド穴38g, 38 各配線パターン32b, 33b, 34b, 35 b, 36bに半田付けするととも、各抵抗層9 1,92,93,94,95の右側腕部の各下端 から各電極片91b,92b,93b,94b,

95 bを介しそれぞれ延出する各リード片91 d, 92d, 93d, 94d, 85dを各ランド 穴38a, 38b, 38c, 38d, 38eにそ れぞれ挿入して各配線パターン32 a, 33 a, 34a, 35a, 36aにそれぞれ半田付けして

しかして、この変形例によれば、第11図に示 したアルミナ基板82を必要とすることなく高周 波フイルタをコンパクトにし得るとともに、各抵 き、その結果、髙周波フイルタ80の濾波効果を 10 抗層91~95をその各後面全体に亘り絶縁層7 2の前面に固着すればよいので、生産性の向上に つながる。なお、第11図においては、各電極片 91a, 92a, 93a, 94a, 95a, 91 b, 92b, 93b, 94b, 95b及び各リー 各コネクタピンP1~P5の各垂下部分は各抵抗 15 ド片81c,92c,93c,94c,95c, 91d, 92d, 93d, 94d, 95dのう ち、各電極片91a, 95a, 91b, 95b及 び各リード片91c, 91d, 95c, 95dの みが符号表示してある。

> また、前記第2実施例においては、共通電極板 81の補強手段としてアルミナ基板 82を採用し たが、これに限らず、例えば、通常の絶縁基板を アルミナ基板82に代えて前記補強手段として採 用してもよい。

また、第14図に示した変形例における高周波 フイルタは、各配線パターン32 a~36 aと各 配線パターン32b~36bとの間にてプリント 基板30上に垂設されているが、これに代えて、 第15図に示すごとく、第13図における場合と 33bを両配線パターン33a, 34a間に延在 30 実質的に同様に各配線パターン32a~36a、 これら各配線パターンに対応するブリント基板3 0及び各銅箔膜31a,31bの各部分、並びに 第14図における高周波フィルタの各電極片 91 b, 92b, 93b, 94b, 95b及び各リー 側に延在させて、各抵抗層91,92,93,9 35 ド片91d,92d,93d,94d,95dを 省略するとともに、コネクタ20の各コネクタビ ンP1, P2, P3, P4, P5の各垂下部を各 抵抗層 9 1, 9 2, 9 3, 9 4, 9 5 の各右側腕 部にそれぞれ直接半田付けするように実施しても h, 38i, 38j, 38kにそれぞれ挿入して 40 よく、かかる場合には、第13図における高周波 フイルタについて述べたが作用効果と実質的に同 様の作用効果を達成し得る。

> また、本発明の実施にあたつては、第16図に 示すごとく、複数のハイブリッド電子素子 111

~111を配列してなる)ハイブリッド基板(ア ルミナ基板、ホーロー基板等からなる110を備 えたハイブリッド電子機器に本発明に係る各高周 波フィルタ120, 130を適用してもよく、か の各接続端子 1 1 2 a, 1 1 2 b, 1 1 2 c, 1 12 dと各ハイブリッド電子素子111~111 間にてハイブリッド基板110の上面一側に組付 けられており、一方高周波フイルタ130は、外 部回路との各接続端子113a, 113b, 11 10 い。 3 c, 113 dと各ハイブリッド電子素子111 ~111との間にてハイブリッド基板110の上 面他側に組付けられている。

高周波フィルタ120は、第16図及び第17 一側に印刷した導体箱膜121と、この導体箱膜 121上に重合した共通電極板122(一対の導 電体の他方に対応)と、この共通電極板122の 上面に各接続端子112a, 112b, 112 c, 112 dにそれぞれ対応させて配列した各絶 20 緑暦 123a, 124a, 125a, 126a, (前配第1実施例における絶縁層72と同様もの) と、これら各絶録層123a, 124a, 125 a, 126 aの上面にそれぞれ印刷した各抵抗層 第1実施例における抵抗層73と同様のもの)と によつて構成されており、各抵抗層123b,1 24b, 125b, 126bはその各一端にて各 接続端子112a, 112b, 112c, 112 127a, 127b, 127c, 127dを介し 各ハイブリッド電子素子111~111にそれぞ れ接続されている。なお、導体箔膜121は、ハ イブリッド基板110を介し、図示しない金属ケ 30も高周波フイルタ120と実質的に同様に構 成してある。

しかして、このように構成した各高周波フイル タ120, 130においては、各接続端子112 a~112d, 113a~113dを介し各外部 40 回路から電波Eに基く髙周波誘導流Iが流入して も、各高周波フイルタ120, 130が、前配第 1実施例と同様に、その各絶縁層の誘電率 の無 線周波数特性及び抵抗層の高周波損失特性のもと

に、髙周波誘導電流Iを各ハイブリッド電子案子 111~111から確実に遮断濾波する。

また、前記各実施例及び各変形例においては、 本発明が車両用電子制御システムに適用された例 かる場合、高周波フィルタ120は、外部回路と 5 について説明したが、これに限らず、船舶その他 の各種移動体の電子制御システムが比較的長い入 出力信号線を有する場合、固定位置に配設した電 子制御システムが比較的長い入出力信号線を有す る場合等にも本発明を適用して実施してもよよ

また、前記各実施例及び各変形例においては、 金属良導体からなるケーシング10を非接地状態 に維持するようにしたが、これに限らず、ケーシ ング10を車体の一部に接地状態に維持してもよ 図に示すごとく、ハイブリッド基板110の上面 15 く、また、電子素子40,50,60等の電子回 路部が電波Eに対し耐性を有する場合には、ケー シング10の一部のみを金属良導体により形成す るようにしてもよい。

### 図面の簡単な説明

第1図は本発明の第1実施例を示す要部斜視 図、第2図は、前記第1実施例例を適用してなる 電子制御システムが車両に装備された状態を示す 図、第3図は第1図にて3-3線に沿う断面図、 第4図は同4-4線に沿う断面図、第5図は第1 123b, 124b, 125b, 126b(前記 25 図における絶縁層の誘電率εの無線周波数fとの 関係を示すグラフ、第6図は第1図における高周 波フイルタの分布定数回路を示す図、第7図は同 LCG定数フイルタ回路図、第8図は第7図にお ける総分布コンダクタンスG及び総分布キャパシ dにそれぞれ接続され、その各端にて各接続端子 30 タンスCの無線周波数f との関係を示すグラフ、 第9図は第1図における高周波フイルタの濾波特 性を示すグラフ、第10図は前記第1実施例の変 形例を示す要部斜視図、第11図は本発明の第2 実施例を示す要部斜視図、第12図は第11図に ーシングに短絡してあり、また高周波フイルタ1 35 て12-12線に沿う断面図、第13図〜第15 図は前記第2実施例の各変形例を示す図、第16 図は前記各実施例の変形例を示す斜視図、並びに 第17図は第16図における高周波フィルタの分 解斜視図である。

> 符号の説明、10……ケーシング、20,20 a...... コネクタ、32a~36a, 32b~36 b……配線パターン、40,50,60……電子 素子、42,43,52,61……リード端子、 70, 80, 120, 130……高周波フイル

# **BEST AVAILABLE COPY**

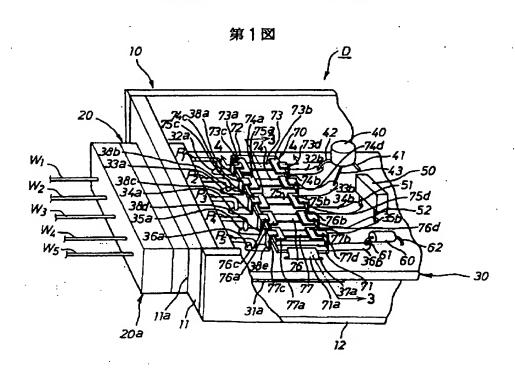
(8)

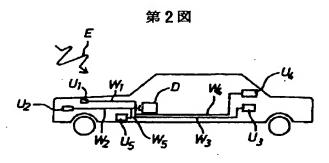
特公 平 5-46724

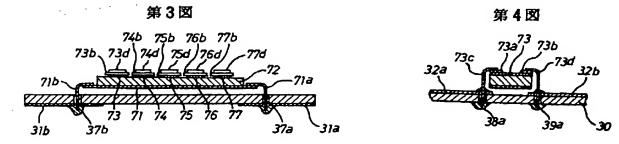
*17* 

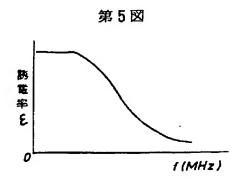
0 1 a ~ 1 0 5 a ······・電極層、 1 1 1 ······ハイブ リット電子素子、 D ·····・電子装置、 W 1 ~ W 5 ··· ・··入出力信号線。

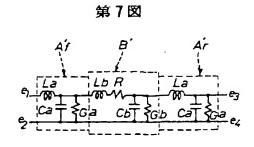
18

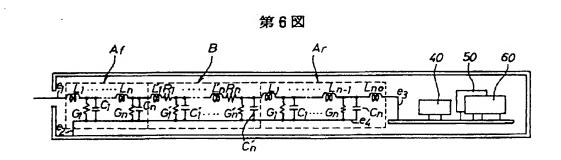


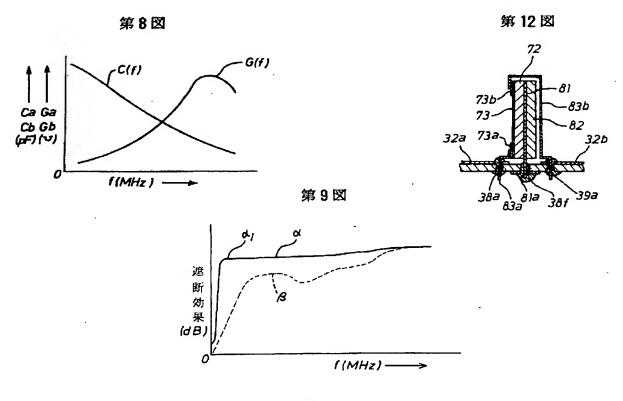


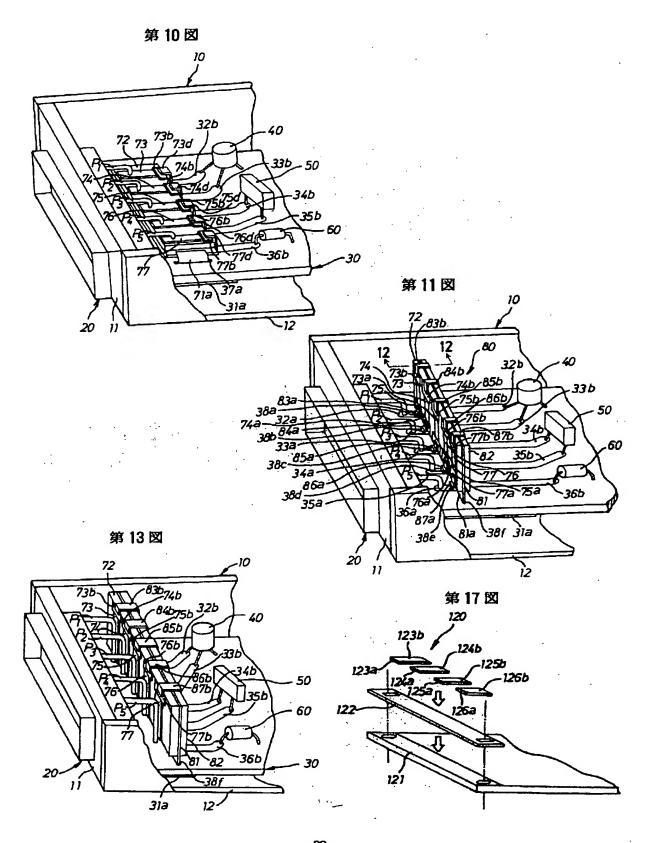




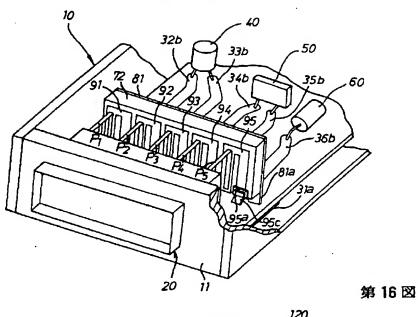


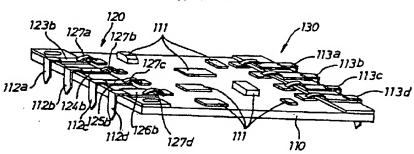






第 15 図





第14図

